

自己評価結果公表シート（平成30年度）

はのうら幼稚園

1、本園の教育目標

“豊かな環境から育まれる豊かな心、一人ひとりの創造性を育てる”を教育の柱とし、幼児期にふさわしい環境を与え、幼い子どもたちが身近な体験を通して生きる力の芽を育み、人や自然を大切にする心、を育成する。

教育目標

- ・生活習慣の基本を身につける（言葉、挨拶、食事、排泄、着脱衣）
- ・物事に対する興味や関心を育て、意欲的、創造的に取り組む力を養う
- ・自分を表現する喜びを感じ、相手の気持ちを理解する心を育てる。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

改訂される幼稚園教育要領を基に幼児実態に合わせた教育課程を再編成をし、教職員全員の共通理解や資質向上に努めるとともに、保護者とコミュニケーションをはかり、子どもの主体性を大切にする環境を構成する。

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
幼稚園の教育課程を踏まえ、園の教育理念・教育方針に従い編成する。	・新幼稚園教育要領の理解を全職員で、積極的に推進し、それを現実の保育に添わせるように、具体的な場面について話し合う。
幼児の主体性を育む保育環境のあり方	・実態に合わせた指導計画や発達記録を作成するとともに、子どもの主体性を大切にされた適切な環境の構成について職員会議や学年会議等で話し合い、共通理解に努めている。
保育の質の向上につながる職員研修の充実	・県私立幼稚園・認定こども園協会の研修会に参加し専門家の話を聞き、理解を深め、保育者としての質の向上に努めた。また、阿南市における研修会に参加し学んだことを、他の職員とも意見交換し理解を深めた。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結 果	理 由
B 達成されている	それぞれの自己評価や話し合いを通して、全教職員が共通理解を図り、本園としての方針を確認することができたと思われる。子どもの主体性を大切にした環境の構成については、今後も日々話し合い課題としていきたい。

5、今後取り組むべき課題

課 題	具 体 的 な 取 組 方 法
自然と環境教育を通じて命を大切にする 教育の充実	防災教育とともに、食教育・環境教育に力を入れていきたい。夏に自然体験学習を行っているが、さらに発展させ命を大切にする教育へとつなげていきたい。
情報公開の方法	きめ細かい情報公開の方法を検討し、ホームページの内容改善やメールや SNS の幅広い活用について工夫する。

6、学校関係者の評価

評価項目

- ・ 自己評価の結果の内容が適切かどうか
- ・ 自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか

意見

出席評議員からは概ね良好な運営をされ、また学校評価にも積極的に取り組まれているという意見をいただいた。

7、財務状況

公認会計士監査により、適性に運営されていると認められている。